

1982 (毎月1回)  
発行

4月号

(村の面積)

332.60km<sup>2</sup>

発行所 福井県大野郡和泉村

# 広報

# いずみ

(昭和57年3月1日現在)

村の人口

総人口	1,437人
男	720人
女	717人
出生	3人
死亡	3人
転入	3人
転出	15人
世帯数	455世帯



みんなで越美北線を利用しよう。



(本誌日) 月 日 年 号 刊 創

人口の増  
入 72  
入 09  
入 71  
入 8  
入 8  
入 21  
入 22

# 昭和五十七年度 予算及び施政方針

昭和五十七年度の予算をご審議いただくに際しまして、予算編成に対する考え方、並びに財政の状況を申しあげ、隔意なきご批判と村政執行に對するご協力及ご理解を賜わりますよう、お願い申しあげます。

政府におきましても石油ショック以来、財政危機が言われて久しく、とくに、五十七年度は臨調、行革の初年度として、一段とその厳しさを増しておりますことは、国民全体周知の事実であります。こうした極めて厳しい情勢の中で、各自治体はシーリングについては前年並み、あるいはそれ以下の見積り上限額を設定するなどして、限られた財源の重点配分に徹するとしながらも、そのほとんどは、その方針に徹しきれずに従来どおりに落ちつかざるを得ない状況であります。

幸いにして本村の場合、自主財源に大きな変動がなく、依存財源である各種事業に對する国、県補助金などについてもその主要なほとんどの事業が指定事業であるため、財源確保の見通しも明るい訳であります。

しかしながら、今秋に予定される第二次臨時調査会の基本答申後、即ち昭和五十八年度以降における予算編成に當つては、国の予算の動向、地方に對する財源対策の見通しなど、いくつかの制約を踏まえて厳しい姿勢をもって、行政全般にわたる見直しと合理化を図るなどして、対処しなければならなくなるものと、予測いたしている次第であります。

縮型予算とし、現在、第九十六回通常国会において審議されているところであり、国においては昭和五十七年度の地方財政計画は、その規模をおおむね四十七兆五百億円程度と見ており、前年度比では五・六％程度の増となり

国の一般会計予算の伸び率を下回ることとなります。しかしながら政府は、国の公共事業費を今年度と同額にしているのに対し、地方財政計画上では地方単独事業費の財源は今年度の伸び率八％を上回る八・五％の伸びを確保したので、地方団体は地域の实情に即した適切な事業選択を行い積極的に事業実施に努めるようにと強調しています。

案または地方財政計画を背景に、本村の昭和五十七年度予算の編成となったのであります。

**この度、提案いたしました昭和五十七年度予算は、次のとおりであります。**

- ※一般会計 十一億八千三〇〇千円
  - ※簡易水道事業特別会計 七百五十四万四千円
  - ※国民健康保険事業特別会計 三千九百六十八万一千円
  - ※診療所事業特別会計 二千四百六万六千円
  - ※農業共済事業特別会計 七百五十二万一千円
  - ※国民休養地事業特別会計 六千六百五十一万一千円
- で、一般会計および特別会計の予算総額は、十三億二千五百六十二万三千円となりました。前年度に比較して総額において一億三千七百七万円の増額（十一・五％増）、一般会計では一億一千五百五十一万二千円の増額（十・八％増）となっております。その主なる原因は、五六豪雪並びに水害による災害復旧事業費として一億三千二百八十八万九千円を措置したことであ

(次のページへ続く)



ります。

特別会計では国保会計で三百一十一万四千円の減額であります。これは診療所事業会計への繰入金および療養諸費が大巾に減額されたことが主なる理由であり、五十五年、五十六年度を対比して療養が大巾に減少した結果によるもので、今にして、成人病、老人病等検診を実施し、病源の早期発見に努めた効果の現れであると、理解しているところであります。

また、簡易水道事業特別会計においても、五百五十五万一千円と大巾に減額しましたが、これは前年は五六豪雪により発生した下大納、下山、朝日などの災害復旧事業が完了したためであります。なお、前年度まで設置されておりました。スキー場事業特別会計は、国民休養地の営業開始に伴い廃止され、かわつて国民休養地に属する特別会計が設けられた訳であります。さきに申しましたとおり国保会計、簡易水道会計において減額されているにもかかわらず、各特別会計の総額が一億四千五百三十二万三千円と、

前年度を二千五百五十五万八千円上回っています。これは国民休養地会計が新しく設けられた結果であります。

新年度予算の主な事業は次のとおりです。

第一には、かねてからの懸案事項でありました。過疎対策のための宅地造成でありましたが、ようやく土地の取得、所有権移転登記などが完了しましたので、七月末完成を目度と新年度早々に着手したいと考え、事業費二千三百十万円を計上しましたが、本事業が過疎化防止対策の一助になれば幸いでありました。

第二には、農林水産業の振興対策であります。第三期山村振興農林漁業対策事業も第二年度に入り、多年にわたる懸案であった山村開発センターを、総工費八千九百二十万円で建設することになりました。しかし、国の予算配分の都合で、二年継続事業となりますので、当年度はとりあえず六千三百八十万円を計上いたしました。本施設の設置は農林漁家定住環境整備事業の一環であり農業協同組合、漁業協同組合、青年団、婦人会な

ど各種団体の拠点施設として、高度利用がなされることを期待すると共に、その効果を確信するものであります。

また、前年度から着手しました。農村基盤総合整備事業も第二年度を迎える訳であります。国の予算配分が極めて厳しく、当初計画した事業の一部を次年度へ見送らざるを得ませんが、数年前より下山区から強く要望されておりました集会施設として、本事業の適用を受け農村集落多目的集会施設を建設すべく二千二百万円、農道整備舗装事業に三百万円、計二千四百万円を計上いたしました。完成後に於いてこの施設が、地域住民の生涯教育やコミュニケーションの場として、最高度に活用されることを期待するものであります。

その他、各地区から要望のあった農業用施設、林道施設の改良、維持などについても三千三百四十五万円を措置し、順次、改良整備することといたしました。村有林造林事業は、一千四百七十七万一千円で保育、新植を進め、将来に備えて村有

財産の形成を図ることとし、また、国の補助を受けて、従来から進めてまいりました黄蓮栽培(特用林産振興対策事業)についても、村費を含めて六百三十四万円を計上、本村の特産品として位置づけるためにも、さらに積極的に奨励し、生産面積の拡大を推進したい考えであります。

なお、電源開発事業完了後毎年継続実施してまいりました淡水魚放流委託事業については、最近、村内各河川における魚族は枯渇の状況にありますが、観光的にも極めて貴重な資源でありますので、これが増殖を図るため、前年度を上回る三百万円を計上いたしました。

第三には、生活環境の整備であります。村道池ヶ島線は幅員が狭隘なため、大型車輻は勿論、除雪車の通行もままならず、これが改良整備を迫られている現状にかんがみとりあえず八千代橋の幅員拡張すべく、六千五百五十万円を改良計画をしましたが、国の予算配分の関係で、当年度は下部工のみ実施することとし二千二百一十万円を予算化

いたしました。その他の村道の維持、改良整備のため一千九百八十六万円、さらに各集落周辺の河川整備のため、三千二百四十五万円を計上し、生活環境の整備と災害の未然防止対策を進めることにいたしました。

第四には、五六豪雪及び水害による災害復旧であります。従来、災害復旧事業は三・四・三の割合をもって、国家予算が配分され三ヶ年で事業実施するのが原則であります。国においては、国内の景揚対策を含めて、本来なら五十七年度予算に計上すべき事業費の一部を「前倒し」して補正予算で措置したので、本村の場合、第一年度で約五十%の事業を完了することが出来ました。五十七年度も同様な措置がなされるものと期待して、残りの全額を予算化し一億三千二百八十八万九千円で農道四ヶ所、林道二十四ヶ所、公共土木関係六ヶ所の全事業について、本年度完了することいたしました。

第五には、商工鉱業者及び一般住民に対する資金融資についてであります。商工鉱

(次のページへ続く)



業振興資金に七千万円、住宅資金一千万円は従来どおりで生活安定資金は増額して一千万円といたしましたので、当該年度の貸付金原資預託は総額で九千万円となり、金融機関を経て一億七千万円の貸出しがなされる訳であり、商工鉦業の振興と住民生活の安定に寄与すべく配慮いたしました。

第六には、教育文化の面でありますが、朝日小学校窓サッシ塗装工事費に百六十一万二千元、大納中学校舎改修費として二百二十万七千元、新しく朝日中学校の教育備品としてL1機器を購入すべく、百九十一万八千元を予算化し教育効果の向上を図ることにいたしました。以上申し述べましたように住民福祉の向上は勿論のこと村民生活の安定を基軸とした村勢の発展を図るべく予算規模は、前年度を一〇・八%上回ることとなりましたが、經常的経費については、極力抑制したつもりであります。

※村 税

歳入については、次のとおりです。

- 二億五千八百八十六万六千元
  - ※地方交付税 四億三千五百〇〇万〇千元
  - ※地方譲与税 一億三千七百五十〇万〇千元
  - ※自動車取得税交付金 七億〇〇〇万〇千元
  - ※国庫支出金 五億六千九百九十一万一千円
  - ※県支出金 一億六千四百三十三万九千円
  - ※村債 一億二千二百八十〇万〇千元
  - ※その他 一億一千七百九十一万四千円
- 以上小計、十一億六千三十三万〇千円を見込み、不足額二千万円については、前年度繰越金二千万円を充当して、収支の均衡をとったものであります。前年度に比較しますと、地方交付税において七千万円の増加を見ておりますが、これは市町村に対する昭和五十七年度の基準財政需要額の算定方法の伸び率、經常経費五・五%程度、投資的経費十一・〇%程度を見込むと共に、あくまでも前年度実績を踏まえて計上したものであり、国庫支出金並びに県支出金については、災害復旧事業に対する

当面する問題及び今後の村づくりについて

補助金の増加分であります。減額したものは、前年度は三千万円計上しておりました財政調整基金からの繰入金を押え、更に村債の発行も八百九十万円減額し、財政の硬直化を防ぎ、健全財政の維持に留意した次第であります。

業計画の樹立地域に指定されることになっており、第三期山村振興対策事業及び農村基盤総合整備事業などと相乗的に推進できる計画を策定いたし、公共的団体や協業体の育成強化に努め、就業機会の増大を図りたいと思っております。なお、本村の最大企業である日本亜鉛鉦業株式会社並びに電源開発株式会社に対しては、村内住民の後継者を優先的に採用していただくよう、お願いしていただくとともに、また、旧下山小学校跡で、現在仮工場として作業を行っている、光金属工業に対しても、永続的な工場の設置について要請しているところであり、近く結論が出る予定であります。

ただいたあかつきには、議会のご意見を充分に尊重し、地域に密着したことから、国の助成などを仰ぎながら、財政措置を講じ実現に最大の努力をいたす決意であります。こうした場合、後野、前坂方面の開発、箱ヶ瀬地区の振興対策についても、同様にご検討願うつもりであります。このような考えから、今議会にご提案申しあげたとおり、役場機構の一部を改正いたし、過疎対策室を設置して、専任職員を配置すべく予定いたしております。次に教育問題であります。村内人口の減少に伴い、小学校の児童生徒の減少も著しく、大納小学校においても、本年度から複式に移行するクラスが出ることになり、教育の低さを憂い村費による教員一名を配置するよう、予算を計上した訳であります。このような状況から、学校統廃合問題も考慮しなければならぬ事態に直面しております。したがって、私は先般、教育委員会に対し、学校統廃合に関する問題と大納地区保育所幼稚園の一元化について、検

(次のページへ続く)



討願うよう要請したところであります。

最後にになりましたが、交通通信網の整備は、地域の振興発展に欠くことのできない要件であります。したがって、

越美北線の存廃問題、国道一五八号の改良整備については村民全体の関心事であります

幸い、一五八号線の最大のネックとなっており、本年度起工

早期完成と無雪化道路の実現

及び越美北線の存続、奥地産業開発道路である白山中居神社朝日線の改良整備の促進に

ご指導とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

以上をもちまして、私の予算に対する概要説明と、村づくりの方針を終らせていただきます。

また、村長から調査委員会に和泉村の産業振興の方策について、「本村の将来を展望し

特殊立地条件を踏まえた望ましい産業振興策と、そのビジョン実現のための具体的方策の調査及び研究について」諮問がなされました。

# 和泉村産業振興調査会が発足

昨年十二月議会で和泉村産業振興調査会条例が制定され

ました。この調査会は、和泉村が過疎から脱却をはかるた



め、村長の諮問機関として調査委員十名以内の組織により構成され、和泉村に適合した産業の振興について調査及び研究を行う機関であります。

三月一日付で次の各氏が調査委員に委嘱され、三月十九日第一回調査委員会を開催し会長に中山正氏、副会長に吉川秀夫氏がそれぞれ就任されました。

また、村長から調査委員会に和泉村の産業振興の方策について、「本村の将来を展望し特殊立地条件を踏まえた望ましい産業振興策と、そのビジョン実現のための具体的方策の調査及び研究について」諮問がなされました。

各委員は、次のとおりです。

本村 幹 (敬称略)

会長 中山 正 (朝 日)

副会長 吉川 秀夫 (朝 日)

委員 三島 藤市 (朝 日)

委員 木島 政雄 (朝 日)

委員 登 久男 (上大納)

委員 清水 一英 (下 山)

委員 中村 寿男

委員 巢守 関次郎 (朝 日)

委員 新井 基衛 (川 合)

## 役場職員の一部異動 過疎対策室を設置

四月一日付

四月一日付で職員の一部に次のとおり異動がありました。

今回、機構の一部を手直して管財課を廃止し、新しく過疎対策室を設けました。

なお、管財課でしていた仕事は、総務課と産業観光課で行います。(前 職)

※中竜支所長 島田 巖 (税務課長)

※税務課長 三橋 武雄 (管財課長)

※過疎対策室長 新井 基衛 (産観参事)

※総務係長

中村 邦典 (税務係長)

※税務係長

古川 茂雄 (出納係長)

※出納係長

番屋 友吉 (支所長代理)

※商工観光係長

古川 渉 (管財係長)

※住民課

大谷 瑛士 (税務課)

※産業観光課

宮下 隆 (住民課)

※税務課

中村 恵子 (産業観光課)

※朝日中学校

原田ミヨ子 (診療所)

※三月三十一日付退職

宮下みよ子

## 村民の皆さんへ

### 産業振興調査会からお願い

四月九日産業振興調査会は第二回委員会を開催し、村長の諮問に対する調査研究方策を審議しましたが、本村の当面する過疎対策の方策を見出すため、観光産業や地場産業の振興策については、たえず村民と共同

歩調で進むことを前提とし時には懇談会を開き、広く皆さんの意見などを拝聴し英知とアイデアを吸収しながら、望ましい産業振興のあり方を研究することになりましたので、村民各位のご協力をお願いいたします。



# 大納小校長に鈴木康雄氏

## 四月一日付教職員異動



(着任された先生がた)

四月一日付で本村の各小中学校教職員の異動があり、次のとおり着任されました。

- 敬称略
- 転入 ( ) は旧任教員
- ◎朝日小学校  
 教諭 石田 欽一 (開成中)  
 教諭 三橋 里子 (大納小)  
 ◎大納小学校  
 校長 鈴木 康雄 (大納中)
- ◎朝日中学校  
 教諭 高橋 映子 (新採用)  
 教諭 沢崎 孝也 (新採用)  
 養教 影長美裕喜 (新採用)  
 ◎大納中学校

- 教頭 福田 徹郎 (村教委)  
 教諭 吉田 恵 (上味見小)  
 事務 安川久美子 (越廼小)
- 転出 ( )
- 山田 一郎 (朝小) 開成中へ  
 橋本 佳子 (朝小) 湊小へ  
 杉原 精一 (大小) 小山小へ  
 小嶋 幸 (大小) 六呂師小へ  
 洞口 幸夫 (大小) 村教委へ  
 三橋 里子 (大小) 朝日小へ  
 旭 志保子 (大小) 荒土小へ  
 梶本 和子 (朝中) 豊小へ  
 吉野由美子 (朝中) 岡保小へ  
 鈴木 康雄 (大中) 大納小へ  
 明石 清美 (大中) 武生第二中へ  
 中川 統子 (大中) 越廼小へ
- 退職
- 教諭 水野 幸子 (朝日中)

### 入学おめでとう

今年小学校に入学した児童は、次のとおりです。

- ※朝日小学校 (六名)
- 中村 光幸 男 下山  
 高木 隆幸 男 朝日  
 富田 亜美 女 朝日  
 富田 由美 女 朝日  
 鶴飼明日香 女 朝日  
 小野寺晃子 女 朝日

### 昭和56年度 学校別進学・就職状況

合計	その他	就職者	進学者	進路別		学校別
				性別	性別	
1	0	0	1	男	計	朝日中学校
1	0	0	1	女	計	朝日中学校
2	0	0	2	計	計	大納中学校
8	0	0	8	男	計	大納中学校
8	2	1	5	女	計	大納中学校
16	2	1	13	計	計	大納中学校

- ※大納小学校 (六名)
- 補伽 誠 男 上大納  
 鈴木 昌彦 男 上大納  
 菅野 洋史 男 上大納  
 東 毅 男 上大納  
 長崎みち代 女 上大納  
 京谷久美子 女 上大納
- 昭和五十七年度の嘱託員さん・班長さん
- 今年各地区の嘱託員、班長さんが、次のとおり決まりました。
- 何かとご苦労さまですがよろしく願います。(敬称略)
- 朝日前坂 加藤 房代
  - 角野前坂 平瀬 利雄
  - 後野 三島健太郎
  - 貝皿 中村 厚子
  - 川合 平野 ちよ
  - 中 三 班
  - 上 大 納
  - 下 大 納
  - 岡 畑
  - 池ヶ島 坂下 栄
  - 坂無 松山 正一
  - 板倉 佐藤 博成
  - 角野 谷口 清次
  - 山下 清水 一英
  - 八 班
  - 七 班
  - 六 班
  - 五 班
  - 四 班
  - 三 班
  - 二 班
  - 一 班
- 中内 智利  
 新屋 芳江  
 桜川 竜子  
 土谷 悦子  
 中村 卓夫  
 中村 貞代  
 宮原 高司  
 中山 由松  
 谷口 久雄  
 佐藤 博成  
 谷口 清次  
 清水 一英  
 坂下 栄  
 谷 幸男  
 山内登子雄  
 番屋喜代志  
 長岡 昇一  
 谷口 重信  
 河口 孝次  
 三橋 正次



# 奥越青少年愛護センターが発足

奥越青少年愛護センターが四月一日から大野、勝山地区広域行政事務組合（和泉村、大野市、勝山市で構成）内に発足しました。

これは、最近の非行が多様化し、とくに低年齢化、広域化してきているため、広域的な視野で奥越二市一村が連携を密にして、青少年の健全育成と補導体制を地域の特性を考慮しながら一体制のある取り組みを図っていくという

ものです。これによって従来の各愛護センターは、奥越青少年愛護センターの分室として発展的に解消し、同センターと密接な連絡をとりながら活動を行います。なお、センター及び分室の所在地はつぎのとおりです。

◎奥越青少年愛護センター  
勝山元町一丁目一番一号  
勝山市役所内  
☎（七七九）八十一二二一（代

## ◎和泉分室

和泉村教育委員会内  
☎（七七九）二二一〇

## ヤングテレホン（青少年相談専用電話）を設置

奥越青少年愛護センターでは、青少年の悩みごとや子どものお悩みの方が、電話で相談できる専用電話を当センター勝山分室に設置し、四月十五日から相談業務を開始いたしましたので、お気軽にご相談ください。

●相談時間  
毎日午前九時より午後四時まで（但し土曜日の午後及び日曜、祭日は除きます。）

●カウンセラー  
勝山市家庭児童相談員（二人）及び当センター専任職員が代って相談に当たります。

●相談室  
勝山市教育福祉会館の一室で密室になっており、相談者とカウンセラー（二人）以外は一切聴くことができません。（秘密は厳守します）

●電話  
☎（七七九）八一〇〇四  
（奥越青少年愛護センター勝山分室内）

# !! 火事をなくそう !!

山の緑は大切な資源です。これからは空気が乾燥し小さな火でも大きな山火事になることがありますから焚火やたばこの火などには十分な注意が必要です。

## ●一●山菜とり●一●

これから山菜とりの季節になりますが、毎年山菜とりのたばこの火やマッチの投げ捨てによる山火事が発生しております。

小さな火でも完全に消しましょう。あなたの心がけ次第で火事は防げます。

## ●一●山仕事●一●

植林や伐採作業などで焚火をするときは、他へ燃えうつらないよう区切りを完全にし、使用した後は完全に消火する。

伐採後の火入れをするときは、消防署へ届出をする。



昭和57年4月1日から  
雇用保険率が改定されました。

	旧雇用保険率	新雇用保険率
一般の事業	14 1,000	14.5 1,000
農林水産、清酒製造の事業	16 1,000	16.5 1,000
建設の事業	17 1,000	17.5 1,000

# 労働保険の申告と納付期限は五月十五日まで 昭和五十七年度 年度更新のお知らせ

## ●年度更新とは

労働保険の保険料は、毎年四月一日から翌年三月三十一日まで（これを「保険年度」といいます）の一年を単位とします。つまり、保険年度の当初に概算で納付した保険料の確定精算を行い、新年度の概算保険料の申告、納付する手続きを「年度更新」といいます。この手続は、四月一日から五月十五日までの間に行わなければならないとされています。

## ●労働保険料率の改正点

## ●申告書の記載について

申告書がOCR（光学文字読取装置）帳票に変わりました。申告書の取り扱い、汚したり、穴をあけたり、折り曲げないようにしてください。やむを得ず折り曲げる場合は折り曲げマーク（▼―▲）の所で折り曲げてください。●なお、申告について、わからない点がありましたら和泉村商工会へご相談ください。

## ●現況届を忘れずに 提出期限は五月末

五月は、国民年金の障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金を受けている方が、「現況届」を提出する時期です。この用紙は、社会保険事務所から送られてきます。「現況届」は、あなたや家族の状態などに変化がないかを確認し、引き続き年金が受けられるかどうかを調べる

大切な手続きです。

もし提出しなかったり、遅れたりしますと、年金の支給が差し止められたり、遅れたりする場合がありますから、必ず期日までに正しくご記入のうえ、役場（年金係）へ提出してください。

## ●農地転用する場合は 農業委員会の許可を！

農地（田畑）などを売買したり、地目を変更する場合には、農業委員会及び県知事の許可が必要です。

最近一部において、農地に植林したり、宅地に変えたりする方が見受けられますので必ず許可を受けてから農地転用を行うようにしてください。なお、農地を農地以外に変更する場合は農地法第四条の許可が、転用と伴に権利の設定又は移転する場合には第五条の許可がそれぞれ必要です。



祐貴子ちゃん



豪ちゃん



匠吾ちゃん

▼死亡

朝日 高井 宏司 (54歳)  
朝日 松田 英世 (36歳)  
朝日 津田 勇 (67歳)

## 人のうごき

一、ほろにがき 早春の味 露のとう  
水 蓮

一、テレビ見る チャンネル争い 趣味違い  
千代子

## 俳句コーナー